

JP5347576

Publication Title:

SELECTIVE CALL RADIO RECEIVER WITH DISPLAY

Abstract:

PURPOSE:To enable a calling subscriber to select the melody titles of a receiver by preparing plural melody titles for information of the reception and demodulating the melody selection signal contained in a received message signal to set an informing melody title.

CONSTITUTION:The selective call radio signal and its subsequent message signal modulate the radio frequency signal. This signal is received through an antenna 101 and a radio part 102 and decoded. When a decoder part 103 confirms the coincidence between the decoded call signal and its own call signal stored in an ID memory 104, a CPU 105 transmits the call signal in a melody. Meanwhile the melody selection signal included in a received message is confirmed, and a calling subscriber sends the signal that designates a melody to a melody storage part 106. The part 106 sends the melody information in response to the melody designating signal. A speaker driver 107 receives the melody information and drives a speaker 108 to generate the melody. Thus the calling subscriber can be recognized by the melody assigned to the calling subscriber.

Data supplied from the esp@cenet database - <http://ep.espacenet.com>

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-347576

(43) 公開日 平成5年(1993)12月27日

(51) Int.Cl.⁵

H 0 4 B 7/26

識別記号

1 0 3 E

庁内整理番号

7304-5K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平4-178928

(22) 出願日 平成4年(1992)6月15日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 宮下 幸雄

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

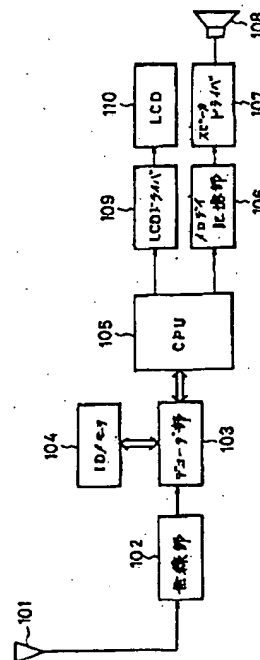
(74) 代理人 弁理士 山川 政樹

(54) 【発明の名称】 表示付無線選択呼出受信機

(57) 【要約】

【目的】 表示付無線選択呼出受信機において、呼出者がメッセージ信号内にメロディ選択信号を入れた場合、受信機の報知メロディを選択できる機能を持たせる。

【構成】 デコーダ部103によりコード化されたメッセージにメロディ選択コードが含まれている場合、CPU105がメロディ選択コードに応じたメロディの種類を指定し、スピーカ108により報知する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 無線選択呼出信号とこれに続くメッセージ信号とによって変調された無線周波数信号を受信、復号し、前記無線選択呼出信号が自己の呼出番号と一致した際に呼受信をメロディにより報知する報知手段と、前記メロディの曲の種類を複数有し前記受信したメッセージ信号にメロディ選択信号が含まれている際メロディ選択信号を復調する復調手段と、この復調手段の出力により前記報知手段により報知を行うメロディの曲目を設定する設定手段を備えることを特徴とする表示付無線選択呼出受信機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は表示付無線選択呼出受信機に係り、特に報知手段を有する表示付無線選択呼出受信機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来の表示付無線選択呼出受信機では、受信機携帯者に対し呼受信を可聴周波数の鳴音やメロディにより報知している。また、鳴音周波数やメロディの種類を選択できるようになっている装置もある。ここで、表示付無線選択呼出受信機の中には呼出者を区別するために、あるいは呼の重要度を区別するために、複数のアドレスを持ち、各アドレスを異なる鳴音周波数あるいはメロディで報知させる場合がある。このように異なる鳴音周波数あるいはメロディを用いて、予め特定の呼出者にアドレスを1つ割り当てておくことにより呼出者あるいは呼びの重要度を区別することが可能となっていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上述した従来の表示付無線選択呼出受信機では、呼出者あるいは呼の重要度をメロディによって区別する場合、アドレスを複数登録しなければならず、受信機利用者にとっては利用料金の面で大きな負担になるという課題があった。また、受信機提供者にとっても電波の有効利用の面でマイナスになるという課題があった。また、メロディによるメッセージ効果を考えると呼出者が報知メロディを選択できないことは受信機の利用形態に制限を加えるものであり、市場の拡大に大きな障害になるという課題があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明の表示付無線選択呼出受信機は、無線選択呼出信号とこれに続くメッセージ信号とによって変調された無線周波数信号を受信、復号し、上記無線選択呼出信号が自己の呼出番号と一致した際に呼受信をメロディにより報知する報知手段と、上記メロディの曲の種類を複数有し上記受信したメッセージ信号にメロディ選択信号が含まれている際メロディ選択信号を復調する復調手段と、この復調手段の出力により上記報知手段により報知を行うメロディの曲目を設定

する設定手段を備える。

【0005】

【作用】 本発明においては、呼出者が受信機の報知メロディの種類を選択できるようにし、また、受信メッセージ内にメロディ選択信号が含まれている場合、そのメロディ選択信号に応じたメロディにより報知する。

【0006】

【実施例】 図1は本発明の一実施例を示すブロック図である。この図1において、101はアンテナ部、102は無線部、103はデコーダ部、104はIDメモリ、105はCPU、106はメロディ記憶部、107はスピーカドライバ、108はスピーカ、109はLCDドライバ、110はLCDである。ここで、アンテナ部101～LCD110は無線選択呼出信号とこれに続くメッセージ信号とによって変調された無線周波数信号を受信、復号し、上記呼出信号が自己の呼出番号と一致した際に呼受信をメロディにより報知する報知手段を構成し、また、デコーダ部103とCPU105は上記メロディの曲の種類を複数有し前記受信したメッセージ信号にメロディ選択信号が含まれている際メロディ選択信号を復調する復調手段を構成し、また、CPU105とメロディ記憶部106は上記復調手段の出力により上記報知手段により報知を行うメロディの曲目を設定する設定手段を構成している。図2は図1の動作説明に供するフローチャートであり、図3は図1の動作説明に供する呼出者電話入力方法および送出メッセージ信号フォーマットである。

【0007】 つぎに図1に示す実施例の動作を図2および図3を参照して説明する。まず、アンテナ101により受信された無線信号は無線部102により増幅された後復調され、その復調された信号は波形整形され2値のデジタル信号に変換される。デコーダ部103はIDメモリ104に書き込まれている自己の呼出番号と上記デジタル信号を比較し、両者が一致すると呼出があったことを被呼出者に知らせるために検出信号をCPU105に送出し、このCPU105は鳴音許可信号をメロディ記憶部106に送出し、このメロディ記憶部106はメロディ信号をスピーカドライバ107に送出しスピーカ108を駆動する。また、メッセージがある場合には、CPU105は表示信号をLCDドライバ109に送出しLCD110を駆動する。

【0008】 つぎに、メロディを発生する場合の動作を図2のフローチャートを参照して説明する。初めにステップ201で自己のアドレスを受信するとメッセージ内のメロディ選択信号を確認し（ステップ202）、メロディ選択信号がある場合には、呼出者が選択したメロディを指定する信号をメロディ記憶部106に送出する（ステップ203）。メロディ選択信号が無い場合は受信機携帯者が設定したメロディの種類を記憶しているRAMをよみだし（ステップ204）、受信機携帯者が設

定したメロディを指定する信号をメロディ記憶部106に送出する(ステップ205)。そして、このメロディ指定信号を受けたメロディ記憶部106はメロディ指定信号に応じたメロディ情報を送出する。このメロディ情報を受けたスピーカドライバ107はスピーカ108を駆動してメロディを発生させる(ステップ206~208)。

【0009】つぎに、本発明による表示付無線選択呼出受信機の一実施例における呼出者電話入力方法および送出メッセージ信号フォーマットを図3を参照して説明する。この図3に示す表において、*は報知メロディ選択モードに入るキーを表し、##はメッセージ終了キーを表す。そして、呼出者入力例におけるメッセージは123456789、報知メロディは15曲中7番目の曲の場合、呼出者入力例は123456789*07##である。呼出者は報知メロディを指定する場合、図3の呼出者入力例のようにメッセージを入力後、*を入力することにより報知メロディ指定モードに入る。つぎにこの図3の表のように曲番ごとに決められたコード番号を入力し、最後に##でメッセージを終了する。受信機側では

【0010】

10

20

【発明の効果】以上説明したように本発明は、呼出者が受信機の報知メロディの種類を選択できるようにしたので、呼出者にそれぞれ違うメロディを割り当てることで、受信機携帯者がメロディの種類により呼出者を確認することができるという効果を有する。また、受信メッセージ内にメロディ選択信号が含まれている場合、そのメロディ選択信号に応じたメロディにより報知するようにしたので、呼出者がメッセージ内にメロディ選択信号を含ませることにより受信機の報知メロディの種類を選択することができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示すブロック図である。

【図2】図1の動作説明に供するフローチャートである。

【図3】図1の動作説明に供する呼出者電話入力方法および送出メッセージ信号フォーマットである。

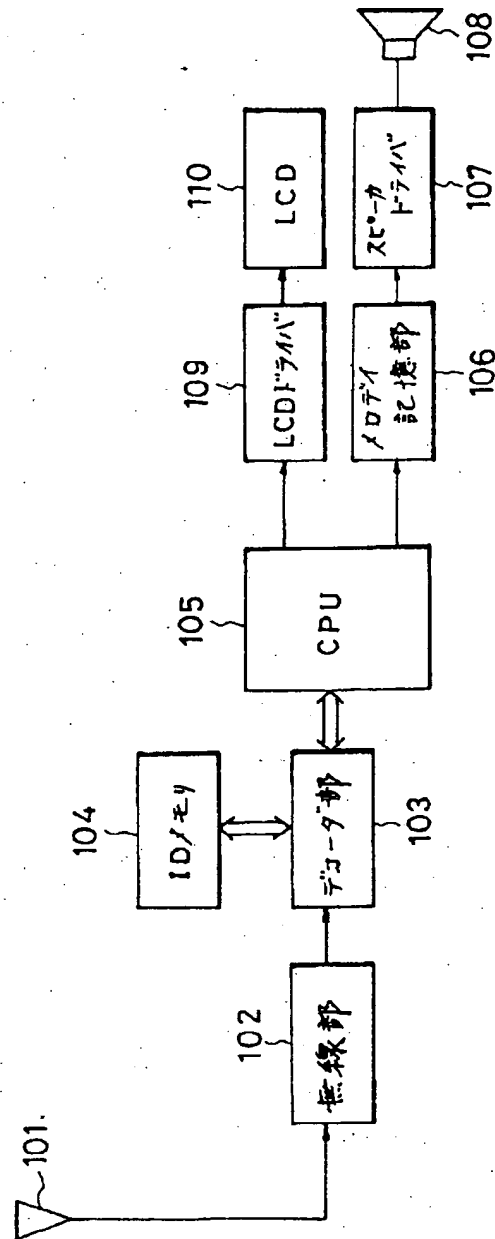
【符号の説明】

- 101 アンテナ部
- 102 無線部
- 103 デコーダ部
- 104 IDメモリ
- 105 CPU
- 106 メロディ記憶部
- 107 スピーカドライバ
- 108 スピーカ
- 109 LCDドライバ
- 110 LCD

【図3】

報知メロディ 種類	呼出者入力	送出メッセージ信号 フォーマット
受信機設定 メロディ	メッセージ*00## 3桁	メッセージコード0000
15曲中 1番目の曲	メッセージ*01##	メッセージコード0001
15曲中 2番目の曲	メッセージ*02##	メッセージコード0010
15曲中 3番目の曲	メッセージ*03##	メッセージコード0011
⋮	⋮	⋮
15曲中 13番目の曲	メッセージ*13##	メッセージコード1101
15曲中 14番目の曲	メッセージ*14##	メッセージコード1110
15曲中 15番目の曲	メッセージ*15##	メッセージコード1111

【図1】



【図2】

